

平成27年9月関東・東北豪雨の被害状況 及び消防機関の活動について

消防庁

平成27年9月関東・東北豪雨の被害状況及び消防機関の活動について①

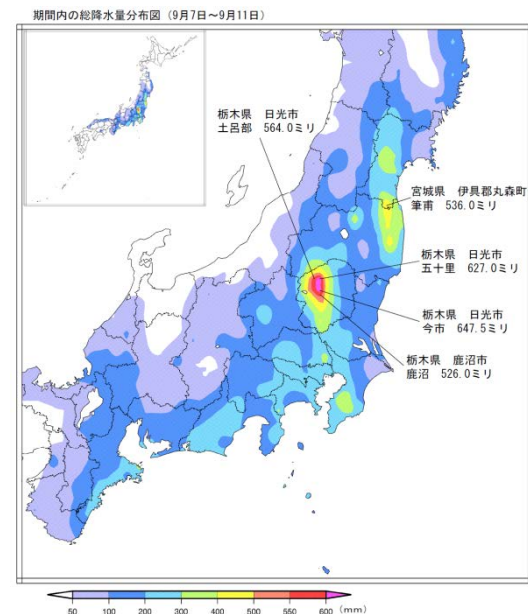
- ・台風第18号が9月9日10時過ぎに愛知県知多半島に上陸した後、日本海に進み、同日21時に温帯低気圧に変わった。台風第18号や台風から変わった低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、特に関東地方と東北地方では記録的な大雨となった。
- ・気象庁は、9月10日に茨城県及び栃木県に、11日に宮城県にそれぞれ大雨の特別警報を発表した。

1. 被害の状況

※消防庁被害報第36報(平成27年11月30日18時00分現在)

人的被害	宮城県	茨城県	栃木県	その他
死者: 8名	2名	3名	3名	
負傷者: 79名	3名	54名	5名	他、8都県にて17名

住家被害	宮城県	茨城県	栃木県	その他
全壊: 79棟	1棟	52棟	24棟	他、福島県にて2棟
半壊: 6,014棟	480棟	5,401棟	133棟	
一部破損: 410棟	365棟	0棟	29棟	他、7県にて16棟
床上浸水: 2,870棟	179棟	137棟	2,054棟	他、7県にて500棟
床下浸水: 10,059棟	637棟	3,685棟	3,812棟	他、11県にて1,925棟



降雨の状況(気象庁資料)

2. 避難の状況

9月8日～9月19日の間に発令された指示・勧告の単純合計値
指示⇔勧告へ切り替えた市町村もあるため、重複あり

避難対象者数	宮城県	茨城県	栃木県	静岡県	三重県	その他
避難指示: 269,755名	9,682名	62,017名	99,242名	73,646名	14,114名	他、4県にて11,054名
避難勧告: 2,930,075名	809,441名	144,134名	145,634名	329,544名	12,378名	他、15都県にて1,488,944名



茨城県常総市内の浸水状況

平成27年9月関東・東北豪雨の被害状況及び消防機関の活動について②

3. 消防機関の活動

(1) 消防機関による救助者数

○9/10～12(3日間)で2,260名(茨城県1,746名、栃木県361名、宮城県153名)を救出

(2) 緊急消防援助隊の活動

○9/10～17(8日間)で延べ572隊、2,246名が活動
○茨城県において救助活動を実施し、航空部隊が276名、陸上部隊が514名を救助

(3) 地元消防本部等の活動

○被災地では、消防機関の人員(消防吏員、消防団員)が県内の広域応援を含め、救助、救急等を実施
○特に被害の大きい茨城県では、9月10日から19日までの間において、以下の人員が捜索救助活動を実施し、956名を救助
茨城県防災航空隊(消防防災ヘリ) : 延べ10隊、61名
県内応援 : 延べ496名
地元消防本部(常総地方広域市町村圏事務組合消防本部及び茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部) : 延べ1,544名

緊急消防援助隊		活動規模
東京消防庁指揮支援隊		8隊 22名
さいたま市消防局指揮支援隊		8隊 33名
新潟市消防局指揮支援隊		5隊 20名
陸上	群馬県大隊(11消防本部)	114隊 440名
	埼玉県大隊(5消防本部)	138隊 491名
	千葉県大隊(9消防本部)	110隊 409名
	東京都大隊(2消防本部)	82隊 290名
	新潟県大隊(9消防本部)	63隊 271名
	陸上小計	507隊 1,901名
航空	群馬県防災航空隊	7隊 49名
	埼玉県防災航空隊	10隊 60名
	千葉市消防航空隊	6隊 35名
	東京消防庁航空隊	14隊 84名
	山梨県消防防災航空隊	7隊 42名
	航空小計	44隊 270名
合計(36消防本部、3県防災航空隊)		572隊 2,246名



ヘリによる上空からの救助活動

水陸両用バギーによる救助活動

